

○湘南医療大学 成田光昭先生による講義の様子と生徒の感想



講義名：「これからの医療と求められる看護」

☆生徒から講師の先生へのお礼と感想

1年 A.Mさん

先日は、横浜清風高校にお越し頂き、講演してくださりありがとうございました。

私は看護師になるという夢が自分の中で定まっているので看護学の講演を拝聴しました。この講話で学ぶことがたくさんありました。また自分自身の夢ともう一度向き合い、私は本気で看護師という職業を目指しているのか改めて考えられる時間になりました。

講演を拝聴して驚いたことは心臓の代わりができる機械が作られていることです。医療の仕事はドラマなどの影響で憧れる人が多いらしく、私もその中の1人です。しかし、ドラマのシーンが全てではなく、仕事の中のごく一部だけを切り取っているのを知り、私は逆にもっと興味を持ちました。ドラマのシーン以外の裏の仕事はどんなことをしているのだろうかと関心が高まりました。看護師を目指していても自分の想像していたイメージと異なり、挫折してしまう人がいるのを知りました。イメージの違いが原因で挫折をしたくないので、講演後もずっと「自分はこの夢でいいのか」と自問自答を繰り返しています。しかし、いくら自問自答を繰り返しても自分の中で決心したものは固く、「看護師に絶対なる」という思いが溢れています。どんなに勉強が大変でも覚えることが多くても私は絶対に挫折しないと覚悟を決めました。成田先生のお話をもっと聞きたいと思い、さらに看護についてより詳しく知りたいと思いました。絶対にたくさんの人を笑顔に出来る看護師になれるように頑張ります。

本当にたくさん考えさせられ、心に響く講話をしてくださりありがとうございました。

1年 S.Yさん

本体験模擬授業を受け、今まで大学のオープンキャンパスに行き、医療について学ぶこととは違い、国家試験の内容や高校生活を送っていく上で何をすればいいのかを学ばせていただきました。

私の将来の夢は看護師であり、困っている人を助け、人に笑顔になってもらうことが大好きです。私自身は夏に看護体験、冬に看護クリスマス会に参加し、とても有意義な体験をしてきました。今回体験模擬授業で学んだことは大学でどれだけ学ぶかということです。日本全国の去年の国家試験合格者は93%と非常に高いです。国家試験は模試のように範囲が全然決まっていなくて、定期テストのように範囲が決まっているそうです。つまり大学に合格してどれだけ興味を持って勉強するかによって差が開いてくるそうです。今私たちがすべきことの一つは看護の仕事について調べ、体験することだと思いました。看護師のイメージだけで進路を決めてしまい、中退する人もいます。なので、事前に準備しておくことが大切だと学びました。春からたくさんのオープンキャンパスや看護体験に参加し、将来の夢である看護師に向けて学び経験を積むことによって、より看護師の仕事を知りたいと考えています。

貴重な講義を受講させて頂き、ありがとうございました。